

AED による除細動

AED が使用可能な傷病者は、8 歳以上で体重 25 キログラム以上の人です。

① AED を傷病者の横に置く

AED を通常は傷病者の胸部の左側に置きます。機種にもよりますが、ケースから AED 本体を取り出すか、ふたを開けます。



② AED の電源を入れる

電源ボタンを押します。電源を入れたら、音声メッセージと本体に点滅するランプに従ってください。



③ 電極パッドを貼る

傷病者の衣服を取り除き、胸部を裸にします。電極パッドの袋を開封し、電極パッドのシールをはがし、傷病者の胸部にしっかりと貼り付けます。電極パッドを貼付けた後、ケーブルを AED 本体の差込口に入れます。

※傷病者の胸が汗などで濡れている場合や貼り薬を貼っている場合は、水分や薬剤をタオルなどで拭き取ってから電極パッドを貼ります。ネックレスなどの金属製のアクセサリは、すぐに外せるものは外します。ペースメーカーがある場合（皮膚が盛り上がり触ると固い）は、3 cm 程度離れたところに貼ります。



④ 心電図の解析をする

電極パッドを貼付けると「傷病者から離れるように」との音声メッセージが流れ心電図の解析が始まります。メッセージが出たら傷病者に触れないよう周りの人に注意を促します。



⑤ 指示が出たら除細動を行う

AED が除細動を加える必要があると判断すると、「電気ショックが必要です」などの音声メッセージが流れ、自動的に充電が始まります。充電が完了すると「除細動ボタンを押してください」

などの音声メッセージや除細動ボタンの点滅、充電完了の連続音が出ます。充電が完了したら再び「みんな、離れて」と注意を促し、誰も傷病者に触れていないことを確認してから、除細動ボタンを押します。



⑥ 除細動不要の指示が出たら循環のサインの有無を確認する

「電気ショックは必要ありません」などの音声メッセージが出たら、AED を付けたままで循環のサイン（呼吸、咳、体動に何らかの動きがあるか）を調べます。循環のサインがすべてなければ、心臓マッサージ 15 回、人工呼吸 2 回の心肺蘇生法を実施し、AED から指示が出たらその指示に従います。

人工呼吸 2 回の心肺蘇生法を実施し、AED から指示が出たらその指示に従います。



心肺蘇生法を用いた AED の流れ

倒れている人を見かけたら

意識がない

119 番通報、AED を手配

気道確保 片手を額にあて、もう一方の手の人さし指と中指で下あごを持ち上げる。



呼吸がない

人工呼吸 傷病者の鼻をつまみ、口を大きく開き傷病者の口を覆い 2 秒かけて息を吹き込む。胸の動きを確認しながら 2 回続ける。



循環のサイン（呼吸、咳、体動）がない

心臓マッサージ

両掌を重ね毎分 100 回の速さで胸骨を圧迫する。心臓マッサージ 15 回と人工呼吸 2 回を交互に繰り返す。



AED が届いたら 除細動を優先して行う



操作は、注意事項を守り、落ち着いて適切に！

救命講習会に参加した
あたらし やすえ
新 康江 さん

毎年、応急手当の講習会に参加しています。心肺蘇生法に AED の使用が加わったことは知っていましたが、AED に対するイメージは「電気ショック＝危険？」という、少し不安に思うところがありました。しかし、AED を用いた心肺蘇生法の実技訓練を受けたことで、使用時の注意事項をしっかりと守り、機器（AED）の指示どおりにすれば、安全かつ適切に操作できるということが分かりました。

今回の講習会で、学んだ知識をしっかりと頭に入れ、今後、万一の場面に遭遇しても、落ち着いて救命処置が行えるよう、普段からいざというときに備えた意識を持つようにしたいと思います。

問い合わせ先

中央保健センター(さざんか会館内) ☎ (0857)20-3192